

運動の目的

当プロジェクトが目指す運動の目的を決めましょう。

- 治験プロセスの大幅短縮
- 第 相試験、第 相試験の大規模実施（根治不能がん患者への適応）
- 有償治験の開始
- 自由診療の開始
- 保険適用の開始

管理人（仮）の考え

現実問題として、患者やその家族がどれだけ運動したところで保険適用が早まる可能性は低いという気がします。いま一度確認しますが、なにより大事なことは根治不能がん患者が「HF10による治療を自己責任で受ける」という選択肢を得ることです。まずはより実現性の高いところで「治験プロセスの短縮」を各方面に働きかけるべきでしょう。その過程のなかで、治験プロセスの実施内容について患者サイドの意見をどう反映させるか、やはりこれに尽きるのではないのでしょうか。もちろんそれと同時に自由診療の早期開始を要望するというアプローチも大切でしょう。なるべく早い段階で名大医学部第二外科に対し公開質問状を送付し回答を得ることで、われわれ自身がなにがどう問題であるのかを把握、さらにそれにはどういった対応が求められているのかを考える必要があると思います。生き残るためにどうすれば良いのか、残り少ない時間をつかって一緒に考えましょう。

丸山ワクチンはげんざい有償治験というかたちで患者の自由意志による使用が認められています。むろん丸山ワクチンには複雑な背景と、そもそもその評価が確定していないという特殊な事情があります。しかし根治不能患者の希望を担っているという点ではなにひとつ違いはありません。根治不能症例に対する優先的な有償治験、これを強く要望していく必要があると思うのです。

コメント

- テスト。 -- (管理人（仮）) 2005-07-05 01:37:33
- 管理人(仮)様、各所での確な取りまとめ、感動です！ とにかく先ず、自由診療でもなんでもいいから、治療を受けられるように運動して、最終的には保険収載を目指したいですね。 -- (bre) 2005-07-05 02:22:01
- 管理人さんのお考えに感動しました。やはり、まずは、一番崖っぷちにいる人をまず救えるように考えるのが第一だと。何が最優先事項なのか、忘れないように時々確認しながら進んでいきましょう！ -- (常連) 2005-07-08 15:57:11
- かなりいい方向性だと思います。公開質問状の答えは多くの方が興味のある事と思います。まず実現させたい事です。 -- (匿名) 2005-07-08 16:34:43
- こう言うてはなんだが、しっかりしたevidenceがないものを夢のような薬として進めるのはいかなものかと、例に挙げられている丸山ワクチンというのも効果が立証されているも

のでもない。効果があるイレッサでさえ副作用がでたとして裁判を起こされている現状でありますし、コピペによる宣伝をするのは事態を混乱させるだけであると思われます。 -- (匿名) 2005-07-27 16:01:58

- 匿名さん、ご提言ありがとうございます。私は「単純ヘルペスウイルスHF10」の治験枠の拡大等、この運動の一連の目的はもちろんです。が、患者の権利と自立・自己責任による治療の選択の自由といったものも、同時に考えて行くものだとして理解しています。イレッサの原告の方が問題になさっているのは、製薬会社がデータを隠していたため薬の効果について正しく知らされていなかったという点です。コピペによる宣伝については、有志の判断を待つところですが、私達は、「しっかりしたevidenceがないものを夢のような薬として進める」のではなく、むしろそのevidenceを作る作業に参加・協力できる道を拓きたいのだということ、ご理解ください。 -- (常連) 2005-07-27 16:26:46
- 常連さんのおっしゃる通りだと思います。が匿名さんの誤解も、癌医療を知る人が見て最初を感じる誤解ポイントだと思います。癌医療を知っていれば知っているほど懐疑的にもなりますし、です。ので想定問答集に入れたらどうですか。 -- (匿名希望) 2005-07-28 11:49:21
- 医学においてevidenceなんか本当に基礎においても立証されていません。evidenceより効果のみが先行している治療は山ほどあります。そこで一つでも多くの治療方法を模索する事は素晴らしいことだと思います。この運動の目的はこれを後押しするものなので、応援しますよ。 -- (名無しさん) 2005-11-14 22:01:16

名前:

コメント:

[すべてのコメントを見る](#)